

# 子育て環境のさらなる充実へ 老朽化が進んでいた堀金保育園と三郷地域の子育ての拠点となる 三郷児童館の起工式がそれぞれ建設予定地で行われました。



堀金保育園完成イメージ



三郷児童館完成イメージ

堀金保育園移転新築工事と三郷児童館新築工事の起工式が10月5日、それぞれの建設地で行われました。  
昭和51年に建てられた堀金保育園は、老朽化と園児数の増加により園舎が手狭になってきたことから、検討委員会などで議論を重ねて移転新築を決定しました。新園舎は、(株)安曇富士の南側の敷地約1万3、858平方メートルに、鉄骨平屋建てで建設し、延長保育室や地域間交流室を設けるほか、太陽光を使った暖房を採用するなど、環境にも配慮した設計です。完成は、来年度になる予定です。

三郷児童館は、三郷中学校北側の敷地約2、414平方メートルに、鉄骨平屋建てで建設されます。児童クラブ室やプレイルームのほか、子育てサークル支援のための育児室や創作活動室、図書室も設置されます。平林市長は「三郷児童館は、地域の悲願であり、これまで慎重な議論が行われた。今後は、安全な運営に努めるとともに、最大限に子育て支援の充実を図っていききたい」とあいさつしました。完成は、来年3月の予定です。

## 総合計画

### 総合計画素案を答申



答申書を手渡す糸長浩司会長(左)

安曇野市総合計画審議会(糸長浩司会長)は10月22日、今後のまちづくりの方向性を明らかにする総合計画について、「北アルプスに生まれ ころ輝く 田園都市 安曇野」を市の将来像とする計画案を平林市長に答申しました。市では答申を受けて、同案を市議会12月定例会に提案することとしています。

同審議会は、昨年7月に市長の諮問を受けスタート。市民意向調査の結果や市民会議の提言なども踏まえながら審議を重ね、同日の第18回審議会で平成20年度から29年度までの10年間を計画年度とする基本構想と前期5カ年の基本計画を策定しました。

## 本庁舎検討

### 来年3月に報告書を提出予定

市では、市役所本庁舎建設の議論を始めるため、安曇野市本庁舎等建設検討委員会の初めての会合を10月11日、堀金総合支所で開催しました。

メンバーは、地域審議会の代表5人、識見者の代表9人、公募の6人、市役所職員5人の計25人で構成され、冒頭に市長から委嘱書が渡されました。市長は「庁内研究会での結果も説明しますが、市民を交えたこの会で自由に討議・検討いただき、方向や選択肢をまとめていただきたい」とあいさつしました。委員会は、今後会議を重ね、来年3月に報告書を市長へ提出する予定です。



第1回検討委員会。初回から活発に意見が出された

## 優良工事表彰

### (有)中部エンジニアが受賞

市としては初めてとなる優良工事表彰の表彰式が10月19日、穂高会館で行われました。

この表彰は、市が発注した300万円以上の建設工事の中から、規定に基づいた評価が高かった工事を表彰する制度で、これにより、施工の適正化や技術向上を図ることを狙いとしています。

この日は、豊科の下水道工事を施工した(有)中部エンジニアが、平成18年度の優良工事の施工者として表彰を受けました。代表取締役の石曾根榮さんは、「この表彰を励みに、社員一丸となり、さらに施工技術の向上を図っていきます」とあいさつしました。



表彰を受ける代表取締役の石曾根榮さん(右)

＝地域医療の充実を願ひ＝

### 三郷・小倉診療所にレントゲン設備を導入

三郷にある市直営の小倉診療所にレントゲン設備が導入され、9月14日から使用を開始しています。

今回のレントゲン設備の導入は、以前からの地元の皆さんの強い要望でもあり、医療設備の充実を図るために行いました。また、同診療所では、今年から診療日を週3日から4日にするなど、地域医療の充実に向けた取り組みをしています。市では、今後も医療業務と診療相談に努力していきますので、診療所をお気軽にご利用ください。



導入されたレントゲン設備